

問 「総合計画」策定の方向性は

答 村政運営の羅針盤をめざす

問 SDGsの中核コンセプトは「誰も

である。反映の手法について検討中

問 新たな、村総合計画の策定に向け強調する点はSDGs(持続可能な開発目標)をどう取り入れるのか。

答 SDGsは多くの住民や中小企業が求め



公明党 うえき 植木 議員



東海村総合計画審議会のようす

問 子どもへの虐待を防ぐ具体的取り組みや、相談体制をどう。

答 村では、平成19年度から要保護児童対策地域協議会を設置。

問 児童虐待防止への取り組みは

答 子ども家庭総合支援拠点の設置を検討

問 国では、3年後までに「子ども家庭総合支援拠点」の設置に向け目標を掲げているが、村の考えは。

答 村の現状や将来を勘案し、適切な活動目標を選択するため、策定に関わる住民や職員のSDGsに関する学習の場を設ける。

問 SDGsの理解について、具体的にどう推進するのか。

答 村の現状や将来を勘案し、適切な活動目標を選択するため、策定に関わる住民や職員のSDGsに関する学習の場を設ける。

問 児童相談所や警察、教育・医療、庁内外の福祉関係機関などで構成され、子育て支援課が調整機関となり、お互いの顔の見える連携体制を構築している。また、地域子育て支援拠点での相談体制に加え、子どもの安全を守る普及啓発にも取り組んでいる。今後福祉的な支援が必要な方の早期発見・介入に向け、全庁的な連携体制を構築する。

問 昨年12月に児童虐待防止新プランで、市町村の体制と専門性強化をさらに進める方針が示された。村ではこれまでの取り組みも踏まえ先進事例の調査や関係各課との協議も重ね、本村にふさわしい「子ども家庭総合支援拠点」の設置を検討する。

問 児童相談所や警察、教育・医療、庁内外の福祉関係機関などで構成され、子育て支援課が調整機関となり、お互いの顔の見える連携体制を構築している。また、地域子育て支援拠点での相談体制に加え、子どもの安全を守る普及啓発にも取り組んでいる。今後福祉的な支援が必要な方の早期発見・介入に向け、全庁的な連携体制を構築する。

問 昨年12月に児童虐待防止新プランで、市町村の体制と専門性強化をさらに進める方針が示された。村ではこれまでの取り組みも踏まえ先進事例の調査や関係各課との協議も重ね、本村にふさわしい「子ども家庭総合支援拠点」の設置を検討する。

問 児童相談所や警察、教育・医療、庁内外の福祉関係機関などで構成され、子育て支援課が調整機関となり、お互いの顔の見える連携体制を構築している。また、地域子育て支援拠点での相談体制に加え、子どもの安全を守る普及啓発にも取り組んでいる。今後福祉的な支援が必要な方の早期発見・介入に向け、全庁的な連携体制を構築する。



子ども虐待防止 オレンジリボンたすきリレーのようす